



# 日本実験動物技術者協会 東海支部会報

2010 年 3 号 (通算 40 号)

## 目次

### 1. 開催のご案内

平成 22 年度三支部 (東海・北陸・関西) 交流会 . . . . . 2

### 2. 報告事項

( 1 ) 平成 22 年度 第 3 回役員会 . . . . . 3

( 2 ) 平成 22 年度実験動物実技講習会 ( 2 級試験対策 ) . . . . . 4

受講者からの感想文 . . . . . 4

### 3. その他

( 1 ) メーリングリスト登録について . . . . . 6

( 2 ) 年会費について . . . . . 6

( 3 ) 東海支部へ賛助 ( 平成 23 年度 ) のお願い . . . . . 6



## 1. 開催のご案内

### 平成 22 年度三支部（東海・北陸・関西）交流会について

東海支部では、例年開催しております技術交流会を、今年度は東海・北陸・関西の三支部交流会として開催します。他支部会員との方々とも交流できるよい機会ですので、お忙しい時節ですが万障お繰り合わせの上、みなさまの多数のご参加をお待ちしております。

日 時：平成 23 年 1 月 22 日（土） 10：00～16：30

（受付 10:00～10:30）

会 場：愛知県産業労働センター(ウインクあいち)

10 階 1003 中会議室

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38

<http://www.winc-aichi.jp/>

#### 内 容

##### 1. 特別講演

###### （特別講演 1）

「動愛法改正の動き」

講師：浦野 徹 先生（熊本大学）

###### （特別講演 2）

「ICLAS モニタリングセンター新マウス・ラット微生物検査項目  
セットの設定」

講師：高倉 彰 先生（実験動物中央研究所）

###### （特別講演 3）

「実験動物の鎮静・麻酔・鎮痛・安楽死」

講師：西村 亮平 先生（東京大学）

###### （三支部交流会特別講演）

「実技協の今後の運営体制について（協会法人化検討の現状）！」

講師：坂本 雄二 副理事長（日本実験動物技術者協会）

## 2. シンポジウム

テーマ：「現場における実験動物福祉の実践」

##### （シンポジウム 1）

アステラスグループにおける動物福祉への取り組み

- 焼津技術センターでの実際 - （仮題）

中野 洋子 先生（アステラス製薬(株)）

##### （シンポジウム 2）

マウス、ラット、ウサギ、マーモセット、ビーグルおよび

カニクイサル環境 ～エンリッチメントの紹介～

伊藤 恒夫 先生 ( (株)中外医科学研究所 )  
 ( シンポジウム 3 )  
 げっ歯類における動物倫理的配慮の実践：馴化法の効果  
 根津 義和 先生 ( 第一三共(株) )

### 3 . 一般演題

\* 一般演題を募集しています。応募方法は、東海支部ホームページをご覧ください。

### 4 . 懇親会

日 時：平成 23 年 1 月 22 日 ( 土 ) 17:30 ~ 19:00  
 場 所：名古屋国際ホテル(名古屋市中区錦 3 -23 -3)  
<http://www.nagoyakokusai.com/>

\* 詳細および参加申し込みは、東海支部ホームページ  
<http://www.jaeat-tokai.org/>  
 からお願いします。

事前参加登録申込締切：平成 22 年 12 月 31 日(金)

#### 参加費等

|     | 事前登録    | 当 日     | 懇親会                      |
|-----|---------|---------|--------------------------|
| 会 員 | 1,000 円 | 2,000 円 | 事前 5,000 円<br>当日 6,000 円 |
| 非会員 | 2,000 円 | 3,000 円 |                          |
| 学 生 | 無料      | 1,000 円 | 事前 4,000 円<br>当日 5,000 円 |

## 2 . 報告事項

### ( 1 ) 平成 22 年度 第 3 回役員会

日時：平成 22 年 11 月 20 日 ( 土 ) 14:00 ~ 18:00  
 場所：名古屋大学医学部基礎棟 201 ゼミ室  
 議題：  
 実験動物技術者 2 級試験対策実技講習会の反省  
 3 支部交流会について  
 プログラム、抄録、役割分担  
 会場で準備するもの、本部共催

懇親会、参加費  
その他

## (2) 平成 22 年度実験動物実技講習会(2 級試験対策)

下記の日程で実技講習会が実施され、7 名の方に参加いただきました。

日 時：平成 22 年 10 月 23 日(土) 9:30～17:00  
会 場：名古屋市立大学(川澄キャンパス)  
講 師：日本エス・エル・シー株式会社 藤田 芳顕先生

### 【参加者からの感想文】

参加された方から、講習会の感想をいただきました。

#### 実験動物実技講習会を受講して

(株)サンプラネット  
川出 明弘

今回の講習会を受講して、座学に関しては 3R、実習に関しては普段触れることの無い動物の取り扱いが非常に勉強になった。

3R は、動物実験を行うにあたり最初に学ぶ基本理念であり、最も重要な課題のひとつだと考えていた。今回、藤田先生から「動物の愛護及び管理に関する法律」、「適正な動物実験とは」の講義を受け 3R の重要性を再確認した。特に、実験動物取り扱いの基礎を学び、洗練された実験手技を身につけることは 3R の Refinement に直結してくる。そして、動物実験が倫理的であること、社会的に適正であることへとつながっていく。社会に対して動物実験が適正に管理されていると説得力を持って説明できるよう、動物実験を行う人間が最も意識しなければいけないことのひとつであると痛感した。また、新旧の動愛法を比較し 3R が明記されたこと、第 41 条の内容を確認したことは、もう一度自分の気を引き締めるという意味でも為になった。

実習に関して、私は、ハムスターを扱った経験が無かった為、ハムスターの取り扱いを丁寧に教えていただけて非常によかったと感じている。ハムスターの取扱いはケージ交換、保定に特徴があるが、ラットとマウスの取り扱いしか行ったことが無かった為、実験動物 2 級技術者資格試験に向けて貴重な経験となった。ただ、私の場合もう少しハムスターの実習時間がいただけたらと感じた。

また、ラット、マウスの正しい取り扱いや臓器の位置に関しても試験前に確認できたこと、実際の実技試験を想定して投与練習を行うことができたことなど、実際に実技試験を意識することができ非常に有意義な 1 日となった。

最後になりましたが、ご多忙の中、お時間を割いてこのような講習会の場を

設けて頂けたことにとても感謝しております。また、講師の方々の丁寧なご指導誠にありがとうございました。



### 実験動物実技講習会を受講して

(財) 食品農医薬品安全性評価センター 安全性試験室  
小田 桐 由加里

今回、実験動物 2 級技術者を目指し、本講習会に参加させていただきました。講習会では、実験動物 2 級技術者試験の実技試験における対策講義として、一日かけて開催されました。

まず、午前に行われた講義では毛色の判別方法、雌雄判別方法、個体識別についてスライドを用いて細かく説明していただき、私が通常使用しない動物の毛色や行わない個体識別方法が理解できました。また、試験におけるポイントもアドバイスいただき、試験への自信になりました。

また、午後に行われた実技講習においては、ラット・マウス・ハムスターが準備され、丁寧な指導をしていただきました。私は、普段ラット・マウスへの経口投与を主とした業務を行っていますが、それ以外の動物や作業を行う機会が少なく、これらに対する自信がありませんでした。特に、ハムスターでは、ラット・マウスとは違う保定や経口投与に驚きましたが、講習会の中でマスター出来、大変勉強になりました。

試験当日まで、今回の講習で教わったことを忘れないよう練習や勉強に励みたいと思います。有意義な時間をありがとうございました。

### 実験動物実技講習会に参加して

安城農林高等学校  
内田 昭二

10月23日(土)に名古屋市立大学を会場として、実験動物実技講習会に参加させていただきました。農業の教員として過去に実験動物に関わる授業指導を行っていたが、自分自身では解剖や繁殖程度の内容のみしか実施していなかった。今回は個人的に経口投与法についての知識を得ることを目的に参加した。

今までは我流の知識しかなかったため、専門的な知見と動物に対するストレスを軽減するような手法を説明していただいた後、自分で操作することにより技術の定着と理にかなった理論が習得できた。わからないところは、講師の先生方が何回も丁寧に教えていただけたのがとてもよかった。

現在のところ、2級技術者認定試験を受けてはいないが、本校でも受験する学生がいるので、今回得た知識や技術を還元して、動物倫理的な部分も含めて学生と資格取得に向けて努力したいと思う。1日ありがとうございました。

### 3. その他

#### (1) メーリングリスト登録について

東海支部では従来よりPDF会員と称し、ご希望があった会員の皆様のメールアドレスをメーリングリスト(ML)に登録し、会報の発信等を行っています。最近では多方面からの情報の配信の必要性もあり、会報のみならずさまざまな情報をリアルタイムに発信しています。郵送による情報の提供よりも早く、またML会員だけに送られる情報もありますので、ぜひMLに登録していただきますようご協力をお願いします。なお、お知らせいただきました個人情報(メールアドレス等)はMLのみに使用し、他には一切使用いたしません。

\* ML登録希望の方は、東海支部事務局までe-mailにてお申し込みください。

事務局 e-mail mailtokai@jaeat-tokai.org

#### (2) 年会費について

本協会は会員の皆様の会費により運営されています。本年度の会費が未納の方は至急お振込みをお願いいたします。

年会費：6,000円

振込先 名称：日本実験動物技術者協会  
口座：00130-9-102291  
取扱機関：落合郵便局



#### (3) 東海支部へ賛助(平成23年度)のお願い

東海支部では、支部の活動である技術交流や研究会、あるいは講師を招き実験動物技術者としての資質の向上を図っております。こうした企画や

運営には、会員のみなさまの年会費をもって当てさせていただいております。また、役員一同も経費の節約に努めておりますが、運営は厳しい状況です。

そこで、賛助についてみなさまに趣旨にご賛同いただき、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

賛助金額 一口1万円（一口以上お願い申し上げます）

申込み方法

賛助いただけます方は、下記連絡先にFAX・メールまたは郵送にてお申し込みをお願いいたします。お申し込み日より一ヶ月以内にお振り込みいただくと幸いです。

振込先

郵便振込口座

口座番号：00800-6-101148

加入者名：日本実験動物技術者協会東海支部

取扱機関：城東郵便局

ゆうちょ銀行

店名：二一八 店番：218 普通口座 1125275

#### < 連絡先 >

〒484-8506 愛知県犬山市大字犬山字官林 41

京都大学霊長類研究所 人類進化モデル研究センター内

日本実験動物技術者協会東海支部

事務局 前田 典彦

TEL 0568-63-0607 FAX 0568-62-9559

maeda@pri.kyoto-u.ac.jp



Japanese Association for Experimental Animal Technologists TOUKAI branch

2010年 12月 No. 40

< 発行者 > 支部長 小木曾 昇

< 発行所 > 日本実験動物技術者協会東海支部

< 編集 > 事務局広報 羽根田 千江美

< 事務局 > 事務局長 前田 典彦

〒484-8506 愛知県犬山市大字犬山字官林 41 番地

国立大学法人 京都大学霊長類研究所

人類進化モデル研究センター内

TEL 0568-63-0607 FAX 0568-62-9559

e-mail: mailtokai@jaeat-tokai.org

HP: http://www.jaeat-tokai.org